

小学校 生活

重点1 児童の思いや願いの実現に向けた単元を構想し、指導計画を立てる

- 児童が興味・関心を向けている対象や既習の体験、季節に応じた地域の人的・物的環境等を把握し、特色ある単元を構想している。
- 身近な生活を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて一人一人の児童の思いや願いを実現していく学習過程を大切にしている。
- 対象と直接関わる活動や体験と、気付きを交流したり振り返ったりする場が適切に繰り返されるよう学習過程を工夫している。
- 各教科等で身に付ける資質・能力を十分に把握し、合科的・関連的な指導を行っている。
- 幼児期に育成された資質・能力とのつながり、中学年の各教科等で育成をめざす資質・能力や「見方・考え方」のつながりを意識して単元を構成している。

【ポイント】

- ◇ ①思いや願いをもつ ②活動や体験をする ③感じる・考える ④表現する・行為する といった学習過程を基本とし、体験活動と表現活動が適切に繰り返されるように工夫します。
- ◇ 児童の思いや願いが生まれるよう、対象との出合わせ方や、対象にじっくり関わったり繰り返し関わったりすることができる学習活動を工夫します。
- ◇ 第1学年においては、スタートカリキュラムを作成し、生活科を中心とした合科的・関連的な指導及び授業時間や学習空間などの環境構成、人間関係づくりなどについて工夫します。

重点2 気付きの質を高める学習指導を行う

- 見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を大切にしている。
- 相手意識や目的意識に基づいて、表現内容や表現方法を考える学習活動を大切にしている。
- 一人一人の多様な気付きの共通点や相違点を捉えたり関係付けたりしながら、新たな気付きが生み出されるよう、伝え合い交流する場や振り返り表現する場を工夫している。

【ポイント】

- ◇ 気付きの質が高まるとは
 - ・無自覚だった気付きが自覚される
 - ・個別の気付きが相互に関連付けられる
 - ・自分自身についての気付きが生まれることをいいます。
- ◇ 児童が感じ取った事柄を、尋ね返したり問い返したり共感したりするなどの言葉がけや働きかけをして、児童の発言やしぐさの背景を深く理解することが大切です。

重点3 指導と評価の一体化を図る

- 単元の評価規準及び小単元における評価規準を具体的な児童の姿として作成している。
- 観点別の学習状況について評価する時期や場面を精選し、「指導と評価の計画」の中で具体的に示している。

【ポイント】

- ◇ 具体的な活動を通して、どのような思考力等が発揮されるか検討し、期待する子どもの姿を具体的に想定しておくことが大切です。

生活科の学習を通して身に付けさせたい 資質・能力（目指す子どもの姿）

◎ 知識及び技能の基礎

- ・具体的な活動や体験を通して、社会事象や自然事象、自分自身に関する個別的・関係的な気付きを形成している。
- ・具体的な活動や体験を通して、習慣や技能を身に付けている。

◎ 思考力、判断力、表現力等の基礎

- ・身体を通して関わり、対象に直接働きかけている。
- ・比較したり、分類したり、関連付けたり、視点を変えたりして対象を捉えている。
- ・思いや願いをもち、試したり、見立てたり、予測したり、見通しをもったりして活動している。
- ・違いに気付いたり、よさを生かしたりして他者と関わり合っている。
- ・伝えたり、交流したり、振り返ったりして表現している。

◎ 学びに向かう力、人間性等

- ・身近な人々や地域に関わり、集団や社会の一員として、適切に行動しようとしている。
- ・身近な自然と関わり、自然を大切にしたり、遊びや生活を豊かにしたりしようとしている。
- ・自分のよさや可能性を生かして、意欲と自信をもって生活しようとしている。

〔生活・総合的な学習の時間ワーキンググループにおける審議の取りまとめ（生活）〕（平成28年8月26日 中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会生活・総合的な学習の時間ワーキンググループ）「資料1 生活科において育成を目指す資質・能力の整理」を参考にして作成）

参考資料

〔「幼児教育」と「小学校教育」がつながるってどういうこと？〕（幼児教育及び小学校教育関係者向けの参考資料）（文部科学省）
※「幼児期の遊びを通した学び」と「生活科」とのつながりを意識した授業展開例が紹介されています。



〔StuDX Style GIGA スクール構想を浸透させ学びを豊かに変革していくカタチ〕（文部科学省）

※児童の発達の段階や特性を考慮した上で、ICTを活用した授業場面が紹介されています。



〔指導と評価の一体化〕のための学習評価に関する参考資料）（国立教育政策研究所）

※巻末資料の「内容のまとめりごとの評価規準（例）」及び「具体的な内容のまとめりごとの評価規準（例）」を参考に、小単元の評価規準を作成することができます。

